

教育相談 (カウンセリング)

[講義・演習] 第4学年 後期 必修 1単位

《担当者名》近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

カウンセリング心理学の多様な視点から対人支援の基礎を学ぶ。知識の習得にとどまらず、分析的心理学やヒューマニスティック心理学を用いた「自己・他者理解」、そして学習理論や認知行動療法に基づく「行動変容」、さらにポジティブ心理学によるウェルビーイングまで、幅広い知見を横断的に扱う。

【学修目標】

一般目標

カウンセリングの基礎となる心理学諸理論を横断的に理解し、人の行動や感情を多角的に捉える視点を養う。自己理解と他者理解を深めながら、対人支援に必要な基本的な考え方を養う。

行動目標

1. カウンセリングの背景となる諸理論の基礎知識を用いて、人の行動や感情の背景を多角的な視点から考察できる。
2. 自分の思考の傾向や感情の動きを含む自己理解を深め、対人支援における自分自身の活用について説明できる。
3. カウンセリングに必要な倫理的配慮を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・講義の進め方、概要、評価の説明 ・心理学的支援の全体像の理解	近藤里美
2	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・学習理論と自己理解分析的心理学と自己理解	近藤里美
3) 4	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・分析的心理学と自己理解	近藤里美
5	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	ヒューマニスティック心理学と自己理解	近藤里美
6	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・社会心理学、認知行動療法と自己理解	近藤里美
7	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・ポジティブ心理学と自己理解	近藤里美
8	まとめ	・カウンセリングの「枠組み」と「倫理」 ・各自の課題の抽出と整理	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

平常点 50%、毎回の振り返りレポート 20%、最終レポート30%

【教科書】

講義時に必要な資料を随時配布する。

【参考書】

諸富祥彦 「カール・ロジャーズ カウンセリングの原点」 角川選書 2021年
河合隼雄 「カウンセリングの実際」 岩波書店 2009年
大山泰弘 「心理カウンセリング序説」 放送大学出版会 2021年
下山晴彦編 『よくわかる臨床心理学 [改訂新版]』 ミネルヴァ書房 2009年

【学修の準備】

- ・この科目は、授業中の演習を通して感じられることを重視する科目であるため、積極的に参加すること。
- ・配布された資料をもとに、十分な事前学修を行うこと（80分）。
- ・毎回の授業後には、振り返りレポートを提出して、各自の課題を整理すること（80分）。

(2026年度・リハビリテーション科学部)

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP3) 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関および介護保健施設での実務経験を活かし、担当の講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している